

自民党選挙公約「**原発を最大限活用する**」は否認された！ 石破政権は岸田前政権の「**原発再推進策**」を中止せよ！

自民党は岸田前首相の原発再推進政策をもとに、選挙公約で「原発を最大限活用する」と書き込んだ。残念ながら社民、れいわ、共産を除くと原発問題は選挙での争点にはされなかったが、選挙の結果は、能登半島大地震で明らかになった原発の危険性も大きな影響を与えて、自民党は敗北した。

政権維持のための国民民主との「部分連合」は原発の推進も課題とされる危険性が極めて強い。

12/8 関電包囲大集会に参加しよう

市民は「原発を最大限活用」を容認はしていない。それを無視して、電力

資本は女川、島根原発の再稼働を進めようとしている。

政府と電力会社に原発再稼働の中止、老朽原発の廃炉を求め、自然エネルギーへの転換を要求しよう。

日時：12月8日(日曜日)

13時～16時過ぎ

場所：関西電力本店前

集会後大阪駅前までデモ！

東北電力が「女川原発2号機」の再稼働へ

東北電力は10月29日に、福島原発と同時に被災し停止していた女川原発2号機を再稼働させようとしたが、3日には炉内での中性子検出器の異常発生で原子炉を停止した。原発の敷地は海面上14mだったので、津波の直接的被害は受けなかったが、建屋には千カ所以上のひび割れ、そして冷却設備が故障した。防波堤や耐震工事を行ったが、牡鹿半島での住民避難の安全対策は不十分。

中国電力が「島根原発2号機」の再稼働へ

中国電力は、島根原発の12月再稼働を予定して、10月28日から原子炉に核燃料を投入する「燃料装荷」を開始した。事故発生時の住民の避難についても、能登大地震での対策は未定のままである。女川原発と同様に島根原発も福島原発と同型の沸騰水型原発(BWR型)である。

福島事故炉でデブリ取出しを再開

福島事故炉で、失敗を重ねている「燃料デブリの試験的な取出し」が再開された。不具合原因は特定できないまま、カメラを交換して再開し1粒を掴んだという。これを「3度目の正直」と言えるのか？

総選挙は自公連立政権への不信任！維新への支持も大幅減！ 極右政党の登場！ 政権による野党の取り込みを許すな！

自民・公明党で比例票を650万票減らし、議会過半数を大きく下回った。これは旧統一教会との関係を隠蔽し、裏金体質を反省しない自民党に対する怒りであり、米国に従属するような軍事・外交政策、大企業を優遇し、中小企業、農業を切り捨てる政治への怒りの発露である。

国会は民意に応えるべきだ

国会では旧統一教会問題、自民党の裏金問題を徹底して究明し、国民の不信に応えるべきである。

自公政権が強行してきた生活破壊に対して消費税の大幅減税、軍事費の大幅削減をすべきである。

自公政権の延命に加担するな

自民党は裏金問題等で非公認とした6人の当選者を自民党会派に組み込み、国民民主党と「部分連合」をすることで政権の延命を図ろうとしている。自民党への怒りの票を利

用して政権ににじり寄り、自民党の補完勢力になれば、次の参院選で見捨てられることは明白である。

旧統一教会関連議員の落選続く

入閣直後に集会などに37回も参加していたことが判明した牧原秀樹法相、政策協定を結んでいた盛山正仁前文科相、教団の名称変更時の下村博文元文科相などは落選。それ以外に統一教会の支援がなくなって落選した議員、無所属になって教団に支援してもらって当選した議員も！？

◆衆院選比例区の得票数の増減

【増加した政党】

- 国民** 259万票→617万票 (358万票増)
- れいわ** 221万票→380万票 (159万票増)
- 立民** 1149万票→1156万票 (7万票増)

【減少した政党】

- 自民** 1991万票→1458万票 (533万票減)
- 維新** 805万票→510万票 (295万票減)
- 公明** 711万票→596万票 (115万票減)
- 共産** 416万票→336万票 (80万票減)
- 社民** 101万票→93万票 (8万票減)

【今回初登場】

- 参政** →187万票
- 保守** →114万票

裏金問題・統一教会問題の徹底的究明こそが前提だ！

地震大国日本に原発NO! 未来社会に再エネYES!

「さようなら原発1000人集会」は福島原発事故以来、兵庫県伊丹で開催され、今回13回目を迎えた。今年正月に能登半島大地震が発生し大きな被害をもたらした。もし阻止された珠洲原発が建設されていたれば福島原発事故を上回る原発被災が再現する危険性があった。地震活動期となり南海トラフ地震、三陸沖、そして能登沖での地震活動が増大しているのに、自民党政権は「原発を最大限活用する」との方針に転換した。そして世界の大勢に逆流し、火力発電の延命と原発推進を進めようとしている。

今回の「さようなら原発1000人集会」は、珠洲原発の建設を阻止し、志賀原発の廃炉に向けて運動をすすめている北野進さんと、世界では原発は過去のものとなり、自然エネルギー発電が主流となっていることについて飯田哲也さんから講演が行われた。

10月26日は、60年前に政府が“原子力の日”と決めたことに抗して、原発に反対する市民が「反原発の日」として長年取り組んできた日である。総選挙の投票日の前日にもかかわらず多数が参加した。

能登の反原発運動 珠洲と志賀

北野進 (志賀原発を廃炉に! 訴訟原告団)

北野進さんは、「珠洲原発予定地」であった高屋(関電)、寺家(中電)が今回の地震の震源地であった能登半島の先端にあること。そして高屋は海辺が3~5m隆起し、寺家は海底の隆起によって入江の地形が変わってしまったことを示された。もし原発が建設されていたなら、地震そのものによる被害が発生していた。



志賀と珠洲 主要経過

志賀原発	珠洲原発
1967.11 建設予定地公表(志賀町赤住・富来町福浦)	
1970. 1 富来町内の用地買収断念	
1984. 3 石川県が「肩代わり海洋調査」を実施	1975.11 市議会、敷地可否調査を国・県に要望
1986 4度目の計画縮小で敷地確定	1984. 3 関電・中電・北電が統合事務所開設
1988. 7 関係漁協の漁業補償等終了	1988.12 関電、立地可能性調査を珠洲市に申し入れ
1988.12 1号機着工 1号機差止訴訟提訴	1989. 5 関電、立地可能性調査開始、中断へ
1993. 7 1号機営業運転開始	
1999. 8 2号機建設差止訴訟提訴	2003.12 関電・中電・北電が計画の凍結を表明
2006. 3 2号機営業運転開始	
2006. 3 金沢地裁(井戸裁判長)差止判決	
2012. 6 志賀原発を廃炉に! 訴訟提訴	

珠洲原発阻止の地域でのたたかい

珠洲原発は市議会による地元誘致型で始まり、関電・中電・北陸電力の3電力が共同で1000万KWの大原発地域を計画。

市長選挙では反対派が票数では多数となった。関電の立地調査に対する阻止行動から闘いは一挙に拡大。反対派による共有地の拡大、各種選挙を含む闘いで、2003年には計画を事実上白紙撤回させることが出来た。



志賀原発を廃炉に! 闘いの経過

珠洲原発より早く1967年から共有地闘争等で闘いが続いた。20年後に共有地を避けた縮小した敷地が確定され1号機が着工し、26年後に1号機が運転開始し、40年後の2006年に2号機が運転開始したが、金沢地裁は運転差止め判決(井戸裁判長)で停止。2012年に廃炉要求提訴。2号機下に活断層の疑惑が指摘されている。今回の能登半島地震で、志賀原発敷地内でも隆起を含む影響が出ている。

廃炉に向けて今こそ立ち上げれ!

数十万人の住民の避難計画、それも実現不可能な計画で稼働させる原発は必要はない。今こそ原発を廃炉にして平和で安全な故郷を!

活断層に囲まれた志賀原発

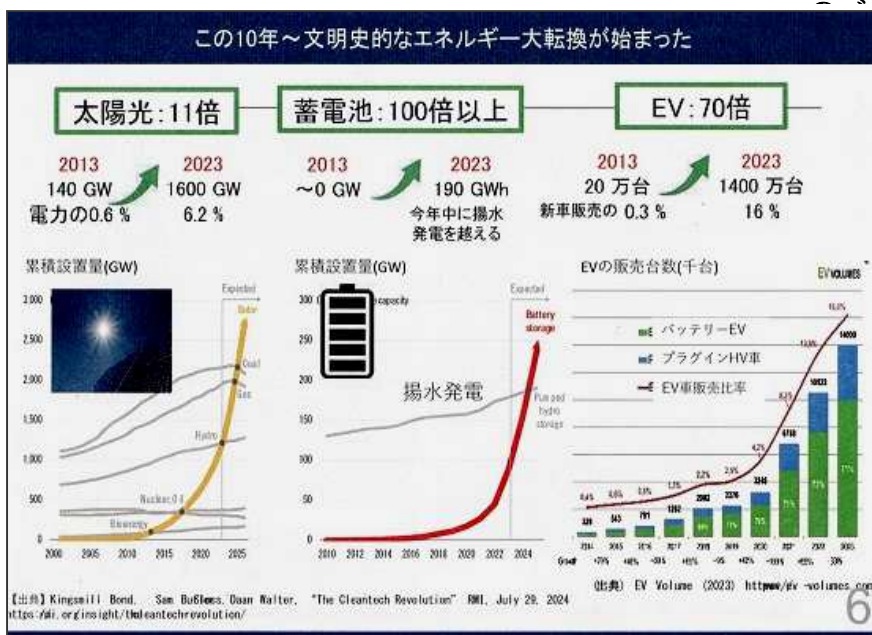
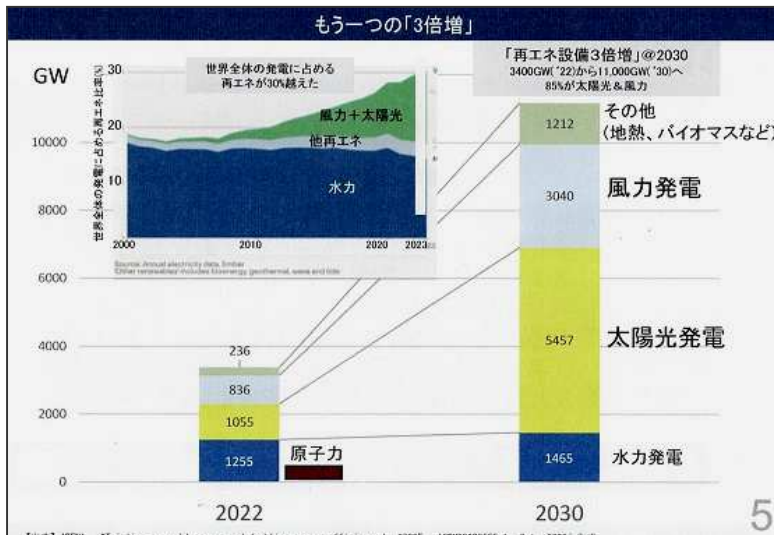
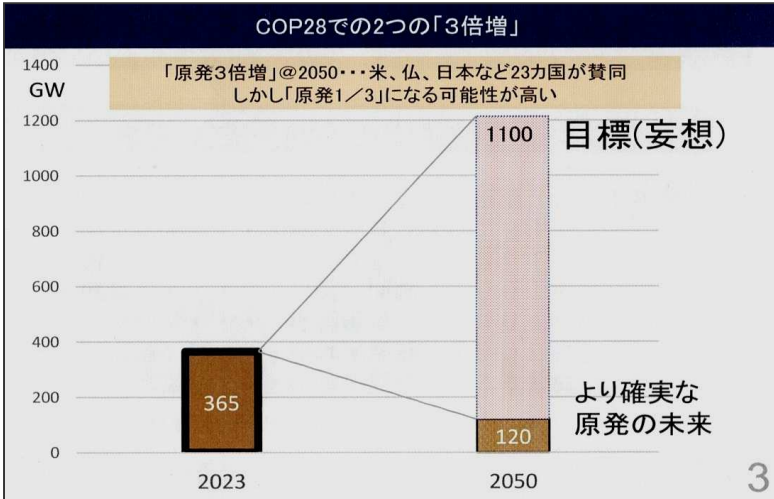




これからのエネルギーの話 文明史的エネルギー大転換と日本の未来

飯田哲也（環境エネルギー政策研究所所長）

日本は世界第3位の地熱資源大国であり、太陽光発電も大きな可能性を持ち、風力発電の可能性も非常に大きい。昨年4月に脱原発を成し遂げたドイツでは、すでに再エネ比率は5割を超えている。日本では逆に原発再推進策が打ち出されようとしている。飯田さんから自然エネの可能性、それを地域の力で拡大することが話された。



日・米・仏などの「原発3倍増」の妄想

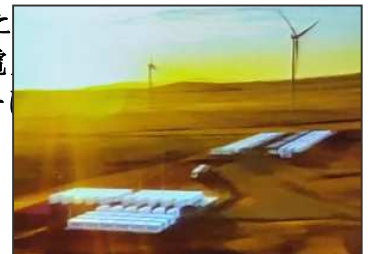
昨年開かれた COP28 で、米、仏、日本など23カ国が賛同して2050年には「原発3倍増」の計画が発表された。それはまさに「妄想」に過ぎない。世界で原発は大量の廃炉時代を迎えている。すでに平均稼働年数は30年を超えている。一方で原発の新造設は経済的に不可能に近くなっている。このままでも2050年には原発は現在の3分の1だ。

着実に実現に向かう「再エネ3倍増」

もう一つの3倍増は太陽光発電、風力発電、その他の自然エネルギーの増加である。こっちは2022年から30年までの9年間で3倍以上の5倍に増加しようとしている。

この10年間(2013→2023)で、太陽光発電は11倍となり、風力発電も増加している。日本では原発優先で、再エネは停止されるが、世界では蓄電池システムが急激に増加し、今や揚水発電システムを超えようとしている。

南オーストラリア州では再生エネ 100%を目指している。そのため太陽光発電の電力をメガバッテリーに蓄えるシステムを米テスラ社と共同開発し設置した。



なぜ日本では再エネが難しいのか

- ①規制が強く設置が制限されている。
- ②「統合コスト」と称して再エネの関係費が上乗せされ原発より高くされる。
- ③世界と比べ設備・工事・検査費が倍以上/米国の1.5倍もする。
- ④FITトラウマ/FITの初期設定が誤りで、地域に根差した計画的な拡大でなく、儲け主義の乱開発を引き起こし、国民負担を拡大した。
- ⑤原発優先と再エネ出力の抑制
- ⑥太陽光、再エネの可能性を否定する論理による抑え込み。

エネルギー転換は地域から

地域でのソーラー発電と蓄電システムで電力と熱供給を実現する。

日米今年度最大の演習「キーン・ソード」(日経 10/24)

自衛隊と米軍は10月23日から11月1日までの間、兵員4万5千人、艦艇が40隻、航空機約400機が参加する巨大な共同軍事演習「キーン・ソード」を開始。対中国に向けた戦争挑発。米軍以外にオーストラリア軍、カナダ軍も参加する。自衛隊基地だけでなく民間飛行場・港湾、市街地を利用して展開される。

BRICS プラス会議に36ヶ国が参加(朝日 10/25)

新興国グループ「BRICS」はプラス会議を開き、36ヶ国が参加し、22ヶ国の首脳が参加した。現在は9ヶ国で構成されているが、東アジアではタイやマレーシア、インドネシアなどが、そしてトルコなどが参加をめざしている。BRICS の国際的影響力は高まりつつある。

日米演習参加の自衛隊オスプレイ事故(朝日 10/29)

日米共同演習で与那国島での搬送演習中であつたオスプレイが離陸の際にバランスを崩して、左翼が地面に衝突した。千葉県木更津に配備されたオスプレイの1台。23日には鹿児島島の鹿屋航空基地でも事故が起きており、沖縄県は演習への使用自粛を要求。

兵庫県知事選挙公示→11/17 投開票(朝日 10/31)

知事のパワハラ疑惑、内部告発者に対する解雇攻撃と自死への追込みなどで追及された斉藤知事(維新と自民党の一部が推薦)が、全県会議員の不信任によって失職した。今回の知事選は7人が立候補して始まった。11月17日の投開票の予定である。

石破内閣の支持率急落 34%(朝日 11/4)

11月4日の朝日新聞の世論調査では、石破政権の支持率は、成立時の46%から34%に急落し、不支持率は47%となった。選挙結果を良かったとする人が64%で、その原因は裏金問題とする人が82%。与党に投票した人の92%が国民民主との連携に賛成、国民民主を含む野党支持者では53%であった。

「わたつみ会不戦のつどい2024」

主催：日本戦没学生記念会(わたつみ会)

本年の「不戦のつどい」では、90歳を超えても元気に、「天皇論―『象徴』と絶対的保守主義」と「可能性としての東アジア」を刊行された子安宣邦さんに「天皇とは何であったか」を講演いただきます。

どのようにして「生き死にする皇国の民をつくった」のか、そして「近代天皇制国家日本」について講演。

日時：12月7日(土) 午後2時～4時半

会場：日本教育会館(東京・一ツ橋) 9階

講演：「天皇とは何であったか」

講師：子安宣邦 わたつみ会会員・日本思想史

ZOOM を使用しての NET 参加

12月2日までにアドレスとお名前と住所をご連絡ください。 info@wadatumikai.com

◆参加申込者には、12月2日までに

URL とパスワード、資料を送ります。

◆参加申込者は、「後日配信」で参観も可能。

案内 11/10 関東ジェノサイドの記憶 前田朗

関東ジェノサイドの記憶
その時、政治家は何をしたか
前田朗

2023年関東大震災発生80周年を記念して、関東大震災の犠牲者に対する追悼と、戦時体制下の歴史を振り返る機会を設けたい。この講演では、関東大震災の歴史を振り返り、戦時体制下の歴史を振り返る機会を設けたい。この講演では、関東大震災の歴史を振り返り、戦時体制下の歴史を振り返る機会を設けたい。

11月10日(日) 開場13:30 14:00
ドーンセンター大会議室2

主催：平和フォーラム

関東大震災虐殺はジェノサイドだという認識が広がってきた。平和教育においてジェノサイド教育実践が模索されている。最高責任者裕仁の責任は？
日時：10月10日 開場13:30
場所：ドーンセンター大会議室—2
講師：前田朗(日本民法協理事)

案内 11/17 戦争の歴史を繰り返させないために

グループZAZAの講演と対話
11/17(日)
戦争の歴史を繰り返させないために
「根津公子の『君が代』と『日の丸』」

「根津公子の『君が代』と『日の丸』」

日時：11月17日 開場14:00
場所：エルおおさか 6F 大会議室
講師：根津公子(元東京都教員)
主催：グループ ZAZA

教員として授業づくりに取り組み、また「君が代・不起立」では3度の処分を受けた根津さんの講演「自分の頭で考える教育と『日の丸・君が代』」
日時：11月17日 開場14:00
場所：エルおおさか 6F 大会議室
講師：根津公子(元東京都教員)
主催：グループ ZAZA

案内 11/22 靖国と自衛隊 服部良一

11月22日
靖国と自衛隊

日時：11月22日(金)18時30分
場所：神戸学生青年センターウエスト
講師：服部良一(社民党幹事長)

マスコミ報道などで、自衛隊と靖国神社の親密な関係が明らかになってきました。今回の講座では靖国と自衛隊の闇を追及します。
日時：11月22日(金)18時30分
場所：神戸学生青年センターウエスト
講師：服部良一(社民党幹事長)

案内 11/26 日韓条約60年 大阪集会

11.26 日韓条約60年
日本の植民地主義の居直りを許すな

日時：11月26日(火)18:30分より
場所：国労会館1階ホール
講師：太田修(同志社大)
主催：参戦と天皇制に反対する連続行動

朝鮮人強制動員をめぐる新たな動きと「過去の克服」
日時：11月26日(火)18:30分より
場所：国労会館1階ホール
講師：太田修(同志社大)
主催：参戦と天皇制に反対する連続行動

報告 10/14 不戦兵士を語り継ぐ会講演会

『教えられなかった戦争』と私
太田直子(映像ディレクター)

不戦兵士を語り継ぐ会の第2回講演会(不戦大学)が10月14日に開かれた。今回は「語り継ぐ会」の共同代表の太田直子さん(映像ディレクター)が講演。埼玉会館に60人を越える市民が参加した。

NHKテレビで『『玉砕』の島を生きて①テニアン島の日本人移民の記録』や「②サイパン島語られなかった真実」を製作された太田さん、現地取材経験をもとに、戦争に翻弄される現地の住民、植民した民間人、そして日本軍兵士の隠された真実を講演された。



太田直子さん

自らの母親をそして娘を殺さざるを得なかった民間人、「玉砕」を拒否して投降を選んだ兵士。戦争がもたらす戦場の悲劇を伝えていかなければならない。